

社保協通信

No.119

2020年12月23日

秋田県社会保障推進協議会

秋田市中通6丁目1-56-5

電話 018-835-6354

Fax 018-832-0203

仙北市・湯沢市・小坂町・にかほ市 無症状の高齢者などにコロナ検査！

新型コロナウイルス第3波が猛威を振るっています。県社保協は医療・介護、保育、障害者等福祉施設の患者さんや利用者さん、保育される子供たち、また、感染防止のため、連日連夜、厳しい緊張の中で頑張っているそれぞれの職員にPCR等行政検査の迅速な実施を求め、各市町村長に要望書を提出、青森県でのクラスター発生による感染急拡大や、全国の無症状検査への取り組みなども示して、その実現を強く要請しました。

湯沢市、高齢者、 帰省学生などへ PCR実施

湯沢市では佐藤副市長が応対し、「行政検査の対象外の無症状者であっても、65歳以上高齢者や

基礎疾患がある人、県外から出張で戻った人、帰省した学生などを対象にPCR検査を来年1月〜3月に実施する。自己負担1万円、それ以外の費用(約2万)は市が補助。検査は総合保険事業団に委託するための予算として

1300万円を臨時議会で決めた」と説明がありました。

小坂町 無症状の高齢町民 などを対象に

また、小坂町では細越町長から「65歳以上の高齢者と65歳未満の基礎疾患(慢性腎臓病、糖尿病、心血管疾患など)がある無症状の町民を対象にPCR検査費用を助成。検査料28600円の9割を補助し、本人負担はその1割3300円程度。東京へ採取検体を送り、翌日には結果

がわかる。検査は小坂診療所で実施。検査費用の助成期間は今年12月から来年3月まで、そのための予算約600万円を18日の臨時議会に提出する」と説明がありました。

仙北市は

県内初9月実施
にかほ市も
来年1月から

仙北市は9月に県内初の無症状者のPCR検査に踏みきり(費用は市民負担)また、

にかほ市も無症状でも65歳以上が基礎疾患のある市民を対象に(検査費用本人負担1万円)来年1月から実施します。

感染防止ための高齢者等無症状者への積極検査(費用負担は各市町それぞれ)が開始されたことは前進です。引き続き、全県へ働きかけを強めます。

「共に生きる 希望の年に」

野口宇宙飛行士が滞在する国際宇宙ステーション(ISS)は地上から観測可能だ。宇宙施設から見る「地球の出」やオーロラの画像は、奇跡の青い水の惑星の美しさ尊さを教えてくれる。その地球は7000万人が感染し160万人が亡くなるコロナパンデミック。日本のガースーは、検査と隔離の基本対策に絶対手を付けず、首長と国民任せ。自粛と経済活動のジレンマが第3波を起こした。まさにGoToトラブル。「旅や食事」の余裕のない社会的弱者は、減収・解雇そして自死に追い込まれ、強者は投資でさらに儲けている。寒い寒い。ここで後期高齢者医療費自己負担2割を決定するとは。冷たい冷たい。共につながり支えあい共に生きる。かけがえないこの星の全てを大事にしたい。見上げたISS日本実験棟の名前は「きぼう」。どうぞよいお年をお迎えください。(G)



湯沢市への要請



能代市への要請

「安心介護」「75歳以上医療費窓口2割負担中止」 「感染症対策をふまえた地域医療構想への見直し」

秋田の市町村からの「意見書」菅義偉首相へ届け！



五城目町議会石川交三議長、門間良雄事務局長へ
陳情する社保協西丸功副会長、茂内芳樹高教組書記長

総勢30名が参加 陳情

このキャラバン行動には県社保協から西丸副会長、佐竹事務局長、県労連越後屋事務局長、高教組茂内書記長他、各地の年金者組合、建交労、さらに各地域医労連（湯沢雄勝・横手

新型コロナウイルス第3波に備える「安心介護」「75歳以上医療費窓口負担2割化の中止」「感染症対策をふまえた地域医療構想への見直し」を国に求める3つの意見書提出の陳情を県内25全市町村議会に提出しました。11月13日の羽後町議会をスタートし、最終の11月27日八峰町議会まで、延べ8日間すべての議会に陳情の資料提出と趣旨説明を行いました。

陳情趣旨を資料も 準備し丁寧に説明

陳情説明では10月

平鹿、大仙仙北、能代山本などから総勢30名が参加しました。また、羽後町では佐藤栄治、金公一議員から同席いただきました。

に行った、介護事業者アンケート結果や事業者の声も紹介し、PCR検査の迅速な実施、経済支援の必要性などを訴えました。また、75歳以上医療費窓口負担2割化は、年金くらしの高齢者の受診抑制を強め、結果的に重症化を招き医療費削減につながるらないこと、さらに、地域医療の必要ベッド数算定式にはコロナのようなパンデミックが想定されていないため見直しが必要なことなどを説明しました。

どの陳情も 町民に必要なもの

潟上市では「あなたたちのお話はよくわかります。介護の現場の大変さもよく知ってます。今日頂いた資料を議員にしっかり説明します」（西村武議長）

五城目町では「3つの陳情はどれも町民にとってあたりまえに必要なもの。先日、知事との懇談で、424公的公立病院統廃合同

題でも明確に反対すると表明があった。「医師が来なくなるようなまちづくりをするか」私たちの課題（石川交三議長）
このように陳情ではでは好意的反応が数多く見受けられました。

★「介護」「構想見直し」陳情8割「採択」 ★「窓口2割化」「採択」と「不採択」拮抗

12月21日現在、議会審議が終了し、結果通知が届いたのは21市町村議会です。その中で「介護」「地域医療構想見直し」陳情「採択」が20議会（採択率80%）となりました。一方、「75歳以上医療費窓口負担2割中止」を求める国への意見書提出陳情は、採択が8議会、不採択8議会と拮抗しています。

2018年に行つた同趣旨の陳情では「採択」22議会で「不採択」は3議会でした。これらと比較すると、菅政権が「年収200万以上の窓口2割負担化」自民党と公明党の与党で合意させ、12月15日には「閣議決定」し、強行突破しようとしていることが大きく影響していることはまちがいありません。
意見書採択結果も踏まえ、来年の通常国会に向けた運動が正念場です。

2020年12月議会陳情結果(市町村一覧)					2020/12/21現在			
陳情内容		「新型コロナ対策を強化し、安心して介護を継続できるようにするために介護施策の改善を国に求める」意見書提出の陳情		75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める国への意見書提出の陳情		「新型コロナウイルス感染症を教訓に感染症対策を含めた地域医療構想に見直しすること」を国に求める意見書提出の陳情		
No.	自治体名	採択●、不採択×、継続▲、配布▽	備考、その他	採択●、不採択×、継続▲、配布▽	備考、その他	採択●、不採択×、継続▲、配布▽	備考、その他	採択月日
1	秋田市	審議中		審議中		審議中		
2	能代市	●		×		●		2020年12月18日
3	横手市	●		▽	配布	●		2020年12月16日
4	大館市	●	趣旨採択	●		●		2020年12月14日
5	男鹿市	●		×		●		2020年12月17日
6	湯沢市	●		×		●		2020年12月21日
7	鹿角市	●		×		●		2020年12月17日
8	由利本荘市	●	趣旨採択	▽	配布・未審議	●		2020年12月18日
9	潟上市	●		●		●		2020年12月15日
10	大仙市	●		▽	配布	●		2020年12月16日
11	北秋田市	審議中		審議中		審議中		
12	にかほ市	●		×		●		2020年12月15日
13	仙北市	審議中		審議中		審議中		
14	小坂町	●		▲		●		2020年12月21日
15	上小阿仁村	●		×		●		2020年12月17日
16	藤里町	●		●		●		2020年12月14日
17	三種町	●		●		●		2020年12月11日
18	八峰町	▲	実質審議 2021年	▲	実質審議 2021年	▲	実質審議 2021年	2020年12月21日
19	五城目町	●		●		●		2020年12月11日
20	八郎潟町	●		●		●		2020年12月14日
21	井川町	●		●		●		2020年12月9日
22	大潟村	●		×		●		2020年12月15日
23	美郷町	審議中		審議中		審議中		
24	羽後町	●		×		●		2020年12月15日
25	東成瀬村	●		●		●		2020年12月18日
● 採択		20	80%	8	32%	20	80%	趣旨採択含む
○ 一部採択		0	0%	0	0%	0	0%	
▲ 継続審査		1	4%	2	8%	1	4%	
▽ 配布		0	0%	3	12%	0	0%	
× 不採択		0	0%	8	32%	0	0%	
審議中		4	16%	4	16%	4	16%	
合計		25	100%	25	100%	25	100%	

北九州市(人口93万人)は、感染拡大を食い止めるために、約340の特別養護老人ホームなどの介護施設と障害児・者施設の入所者・職員、約3万人を対象に、無料で来年3月まで3回、だ液によるPCR検査を12月21日から実施します。

介護・認知症なんでも 電話相談の結果

11月11日(水)の「介護の日」、中央社保協などの呼びかけで「介護認知症なんでも電話相談」が全国一斉に実施されました。

新型コロナウィルス第3波の感染拡大が深刻さを迎える中、秋田県では5件、全国では270件を超える相談が寄せられました。

「認知症の人と家族の会秋田県支部」や秋田県労連などの協力得て実施

秋田の電話相談では「認知症の人と家族の会」の石村会長、武石副会長、県労連からは越後屋事務局長、また、社保協から渡部介護部長、米山久子ケアマネージャー、事務局から西丸副会長、佐竹事務局長等は中通労組会館で、田中誠副会長は自



宅で電話待機するなど総勢7名が参加、午前10時から16時まで行われました。

入院の夫に面会できず不安 精神低下が心配

★認知症の夫(82歳)「精神科病棟に入院3か月。コロナ禍で面会制限のため一度も面会できない。このままでもいいか不安」。

★「コロナ感染の影響で家族とのコミュニケーションがとれない。利用者の精神面の低下が心配」などの相談

相談員からはガラス越しでも利用者(夫)と話をしたいことを病院に伝

える。本人は読めないかもしれないが、妻から手紙を書くことも励みになる。地域包括やケアマネにも心の内を伝えておくことが大切などアドバイス。

★「利用者、家族のオンライン面会を実現させるために無線ネット環境を整え、A4版タブレット3台購入して、1日1人15分、4人の面会を限度に実施。現在では予約制をとっており、大変喜ばれている。導入して大変良かったと思っているが導入費用30万円、国の補助があればいい」。

必死に頑張っている 職員の給与を上げて!



★介護職員不足はますます深刻、GOTO利用などは制限され、さらにコロナ感染防止に必死に頑張っているが、このままではさらに介護職員の離職が進む。もう限界。職員の給与をあげてほしい。★職場に利用者のためのサービス向上の提言を行ったが無視された上、サービスからサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)への人事異動の話が来る。異動を受け入れなければ解雇されるか?などの相談がありました。

相談内容は国、県、市町村へ改善を要望!

電話相談内容で国への要望は中央社保協を通じて、また県、市町村への要望は県社保協が改善を求め折衝、労働相談は県労連で相談継続中。

月8万円の年金 医療にかかれない

66歳女性、独居

「歩き方がおかしい。相談にのってやってほしい」と生活と健康を守る会から依頼あり自宅訪問。1年前から不自由だが医療費払えず我慢していたという。「身体障害診断の手引き」をみると身障に該当しそう。65歳以上なので、身障6級に該当すれば、医療費は無料になる。

通院中の整形外科で診断書を書く診察を受けてもらったが、「わからない」と神経内科を紹介される。神経内科では「生活困難ならヘルパーさんの訪問を増やしたい」と言われる。次回診察に同席し、医師に症状特定と医療費支払い困難の実情を伝え診断書を要請。MRIで脳梗塞による右半身不全マヒと診断され、翌日に診断書が出た。

その日のうちに申請。8月31日、身障6級の通知を受け取ることができ、8月の医療費から無料となった。

これで治療のレールにのることができるよう。まずはほっとひと安心。

「なんでも無料相談」ケアマネYさんの